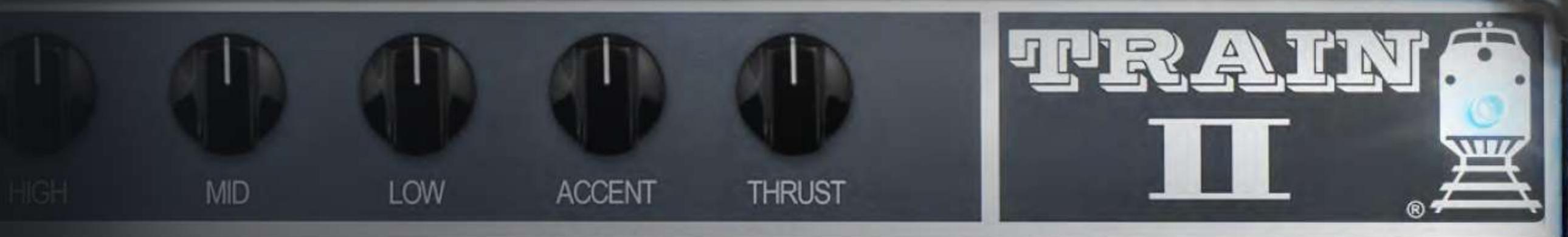


brainworx 



プラグイン・マニュアル | Fuchs Train II

Fuchs Train II

Andy Fuchs' Highly Coveted Original Design

もくじ

はじめに	3	FXラックRECチェイン	7
		REC チェイン	7
		+/- スイッチ (プラス/マイナス)	7
アンプセクション	4	イン/アウト	8
		インプットゲイン	8
		パワーソーク	8
FXラック・ダイナミクス	5	キャビネット	9
ノイズゲート	5		
アンプフィルター	5		
FXラック・ディレイ	6	ツールバー	10
ディレイコントロール	6	プラグインセッティング・ツールバー	10
		ファクトリー・プリセット	10



はじめに:

Train IIはFuchs Amplification製品の優れた評価を体現し、ギターの伝説的なサウンドで釘付けにするアンプの能力を具現化しつつ、よりモダンに、そして楽器のカラーの可能性を拡大しつつ独自のサウンドを提供します。もともとKen FischerのTrainwreckにインスパイアされたTrain IIは、Mark KnopflerやBrad Paiselyのようなマルチグラミー賞を受賞したアーティストのような伝説を誇る濃厚なグリッドやリッチなロックオーバードライブ・サウンドを提供します。これ以外にペダルやその他のアンプを追加セットアップする必要なく、拡張されたコントロールによって快適でワイドレンジなサウンドを提供します。カスケード・ゲインステージは、マスタボリュームに達する前にハーモニクス複雑なレイヤーを簡単に作り出しつつも、アウトプットを調整して適正なボリュームレベルを保つことができます。アクセントとスラスト・コントロールは、ハイエンドに輝きを、ローエンドにはボディを加え、ギターサウンドをさらに洗練し、特徴付けることができます。このアンプは、ダイヤルを回した各コントロールの設定で、素晴らしいトーンレンジを提供し、すぐに最適なトーンを手に入れ、ギターのコントロールだけでゲイン調整を行うことができます。

Brainworx のTrain IIプラグインは、Fuchsのロックンロール・サウンドの傑作を持つ大胆で美しいサウンドをキャプチャーしています。このプラグインには、ピックアップのハム、ボディランブルをフィルタリングするノイズゲート、ヘッドルームを失うことなくゲインを加えるパワーソーク、内蔵の“タップテンポ”機能を備えたビンテージ・ディレイユニットなど、オンボードのFXラックのような便利な機能も追加されています。Train IIプラグインは、いくつかのブティック・キャビネットをキャプチャーし、ハイエンド&ビンテージのマイクとアウトボードを介し、Brainworxのビンテージ・コンソールを使用して録音された100種類を超えるインパルスレスポンスの録音チェーンを備え、すぐに録音に使用することができます。BrainworxのハードウェアモデリングのノウハウとUniversal AudioのUnisonプリアンプインピーダンスのモデリングテクノロジーによってTrain IIプラグインは、オリジナルのアンプのサウンドとフィーリングのすべてを提供し、プレイヤーは、ほぼゼロ・レイテンシーで演奏することができます。これは非常に正確で、物理的なアンプを演奏していることと遜色ありません。

Unisonテクノロジー

The Fuchs Train IIプラグインは、Apolloシリーズのインターフェイスでを使用することを念頭に開発され、Unisonプリアンプテクノロジーに対応しています。もちろんThe Fuchs Train IIは、他のUAD-2デバイスでも動作しますが、重要な要素であるインピーダンス、リアルなアンプの“スウィートスポット”やサーキットの動作などの超低レイテンシーを体感するには、Apolloインターフェイスが必要です。これを行うには、ApolloのConsoleアプリケーションのプリアンプ・インサートにThe Fuchs Train IIをインサートする必要があります。これはあなたの経験を大幅に向上させ、サウンドのトーンや動作を物理的なギターアンプのように動作させます。

このプラグインの主な用途は以下の通りです。:

1. DI から接続したギターを録音し、内部のアンプ・シミュレーション、録音チェーン、FX ラックを使用し、DAW で編集、加工を行う
2. パワーアンプ・シミュレーションと録音チェーンによるハードウェア・プリアンプの録音
3. Apollo の Console を使用してスタジオのスピーカー、ホームステレオ・システム、ヘッドフォンや本物のギター・アンプやキャビネットに接続して最小のレイテンシーで自宅練習が可能
4. リアルなパワーアンプとスピーカー・セットアップを使用してライブでの使用
5. ライブでの使用時、ライブ・コンソールやインイヤースystemへの直接プラグインが可能
6. 他のアンプ・シミュレーターで録音した完璧なギタートラックをリアンプ

The Amp Section | Fuchs Train II



TONE STACK:

POWER: オン/オフ・スイッチ。パワースイッチを使用してオリジナルのミックスとTrain IIのエフェクトを比較するためにプロセッシングをオン/オフさせることができます。

GAIN 1: 1~10の連続可変ノブ。このコントロールは、JFETトランジスタでドライブする最初のゲインステージを調整します。

GAIN 2: 1~10の連続可変ノブ。2番目のゲインステージを調整します。

MASTER: 1~10の連続可変ノブ。アンプ全体のボリュームを調整します。

HIGH/MID/LOW: 1~10の連続可変ノブ。固定された周波数レンジのゲインをコントロールします。

ACCENT: 1~10の連続可変ノブ。アクセント・コントロールは、パワーアンプ・セクション内で動作し、高域でのネガティブ・フィードバックを軽減します。アンプ全体の音色にエッジを加えます。バンドやレコーディング・ミックスでカットを必要とする場合に便利です。ノート・フィードバックを行ない、“歌う”ような能力を高めることができます。”

THRUST: 1~10の連続可変ノブ。パワーアンプ・セクション内で動作し、低周波数帯でのネガティブ・フィードバックを軽減します。

FX RACK Dynamics

Fuchs Train II



NOISE GATE:

‘CLOSED’ LED: このLED が点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これは、THRESHOLD 値よりもギター・シグナルが低くなり、ノイズゲートが、RANGE コントロールで調節した値の分、アンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。(上図では15dB)

NOISE GATE ON/OFF: ノイズゲートのオン/オフを切替えます。スイッチが上向き(“ON”)でノイズゲートが有効になります。

THRESHOLD: 連続可変ノブ、-120db ~ 0db。ノイズゲートは、ギターからのシグナルが一定のレベルを下回るとアンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。このレベルのことを“スレッシュホールド”と言います。オーバードライブしたアンプのノイズが削減される用にスレッシュホールドを調整しますが、ギターそのもののサウンドに影響が内容に調整してください。

RANGE: 連続可変ノブ、0db ~ 100dB。インプット・シグナルがスレッシュホールドを下回った場合、アンプのアウトプット・レベルを減衰、またはミュートします。その減衰値をコントロールします。最大値ではアウトプットをミュートすることができます。

AMP FILTERS:

(プリ/ポスト切替え)

TIGHT FILTER: 3段階切り替え式: Pre、Post、Off。
TIGHT フィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

PRE: ギターのピックアップからのサウンドで低域がもたつく場合、アンプに入力する前にローエンドをフィルタリングすることができます。

POST: アンプ・セッティングで発生したローエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのハイパス・フィルターを使用することができます。

OFF: オフに設定するとTIGHTフィルターはバイパスされます。

TIGHT FREQUENCY: 連続可変ノブ: 30Hz ~ 3kHz
カットする低周波数帯の周波数を設定します。

SMOOTH FILTER: 3段階切り替え式: Pre、Post、Off。
SMOOTH フィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

PRE: ギターのピックアップからのヒスやノイズが多く感じる場合、アンプに入力する前にハイエンドをフィルタリングすることができます。

POST: アンプ・セッティングで発生したハイエンドの一部をカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのローパス・フィルターを使用することができます。

OFF: オフに設定するとSMOOTH フィルターはバイパスされます。

SMOOTH FREQUENCY: 連続可変ノブ: 3kHz ~ 35kHz
カットする高周波数帯の周波数を設定します。

FX RACK Delay |

Fuchs Train II



Delay

DELAY: オン/オフ・スイッチ。ディレイユニットのオン/オフを切替えます。

DELAY TIME: 連続可変ノブ: 15ms ~ 1000ms。ディレイタイムの調整を行ないます。

DELAY FEEDBACK: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ディレイのフィードバック量を設定します。

DELAY MIX: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ドライ信号とディレイのレベルバランスを設定します。

DELAY LOFI: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ディレイ・信号にクリエイティブなディストラクションを加えます。

x2: 切り替えボタン。ディレイタイムを2倍にします。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

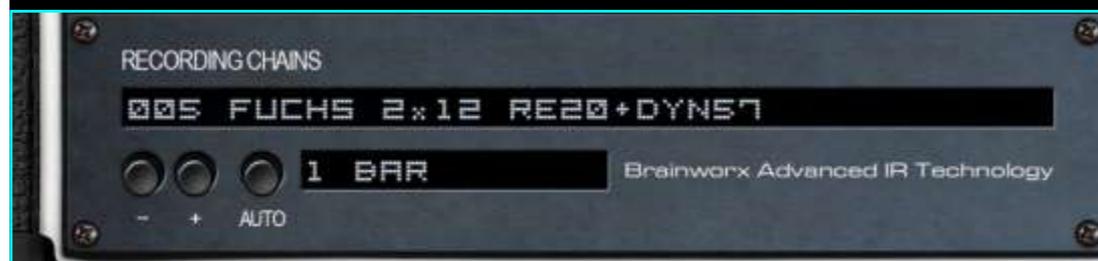
/2: 切り替えボタン。ディレイタイムを半分にします。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

TAP: マウスでTAP ボタンをリズムカルにクリックすることで、ディレイタイムを調整することができます。DAW や BPM ベースのテンポに合わせてプレーしなくても、ディレイのテンポをギターのリフに合わせるすることができます。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

TEMPO BAR SUBDIVISION: DAW から受信する実際のテンポを表示します。(4/4表示をベースに BPM 表示)

FX RACK Rec Chain |

Fuchs Train II



REC CHAINS:

シンプルに“REC CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオをセットアップを選択してください！ REC CHAINSの各キャビネットタイプの詳細については、9ページを参照してください。

BrainworxのオーナーDirk Ulrichは、過去20年の間にDREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデュースやレコーディングを行ってきました。ドイツのBrainworx Studio(www.brainworx-studio.de)では、これまでに9台しか製作されなかったNEVE VXS 72 コンソールの1台と最高級のアウトボードEQやマイクプリアンプを所有しています。

この素晴らしいセットアップを使用して、Fuchsアンプに使用するためにカスタマイズした膨大な“レコーディング・チェーン”を作成し、それをプラグイン・アンプの設定に使用することができます。完璧なマイキングされた26種類のキャビネットと、EQされた26種類のギター・キャビネット等を1回のマウスクリックで簡単に使用することができます。

多くのアンプ・シミュレーターは、キャビネットとマイクの選択に違和感を与える場合があります。そしてこれらの不完全な設定はEQや、プロセッシングによってユーザーが補完します。異なるマイク・セットアップのミックス、フェイズの調整、やEQなど…しかし、これらは簡単な調整ではありません。これらを正しく設定するには長年の経験が必要となります。

調整する必要があるのは、トーンやゲインで、アンプのチャンネルとセッティングに最高のサウンドを得られる REC CHAIN を選択しプレーするだけです。それはリコールでき、信頼があり、フレキシブルかつ即座に対応することができます。

レコーディング・チェーンにお気に入りが見つけれなかった場合、最後のセッティングとして独自のマイキングをしたキャビネットを使用することができます。(EMPTY PLAY VIA REAL CAB とラベリングされている)このセッティングは、Consoleに1台のチューブ・アンプのみの音を接続します。このサウンドがより良い効果を得る場合もあります。

+/- SWITCHES (PLUS / MINUS):

REC CHAINS テキストボックスのプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックしてREC CHAIN をブラウジングすることができます。

AUTO & BAR selection:

使用する曲に最高にマッチする REC CHAIN を探す場合、マウスで REC CHAIN を選び、いくつかフレーズ弾いた後にまた次の REC CHAIN を探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなければなりません。

Fuchs Train II プラグインは、オート・モードを提供します。

パターン(1、2または4小節)を選択するとプラグインは DAW のテンポにシンクし、REC CHAIN のオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかの REC CHAIN の音を1、2、4小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。

スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良いREC CHAIN が見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オート・モードを停止し、必要な REC CHAIN を選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。



イン/アウト・コントロール

INPUT GAIN: -20dB ~ +20dBの間で連続可変。Fuchsプリアンプを強く、または軽くドライブさせたい場合に、お好みに合わせてインプット・ゲインを調整することができます。ビンテージ・ギターのシングルコイル・ピックアップの中には、インプット・ゲインの補正が必要な低レベルのアウトプットの物があります。

ヘビーメタル・スタイルのハムバッカーの場合は反対です。DI シグナルがホットな場合や、Fuchsアンプ・プラグインにインプットする前に他のプラグインを使用している場合は、インプット・シグナルを下げたくなるかもしれません。

標準的なギターを使用する場合、インプット・ゲインを“0”から始めることを推奨します。

PREAMP BYPASS: オン/オフ・スイッチ。プリアンプ・セクションをバイパスします。

POWER AMP BYPASS: オン/オフ・スイッチ。パワーアンプ・セクションをバイパスします。

POWER SOAK: -40dB ~ 0dBの間で連続可変。本物のパワーソークは、ギター・パワーアンプのボリュームを減らすために使用します。耳を保護し、近隣に迷惑をかけない音量で、アンプがクリッピングを始めるまでチューブ・アンプをドライブさせて、レコーディングを行うことができます。

クリッピングしたチューブ・パワーアンプは、ギター・アンプのシグナルに歪みや倍音を加え、ほとんどのギタリストが好むサウンドを出力します。パワーソークによってボリュームを抑えられたサウンドは、マスター・ボリュームで同じ音量に調整した場合と、サウンドが異なります。

Fuchs パワーアンプの動作をモデリングしたので、アンプとパワーソークのマスター・ボリュームのセッティングを数通り試すことができます。最初に-10 dB の設定で試されることをお勧めします。

CABINETS

Fuchs Train II

CABINETS

FUCHS: ビンテージキャビネットは、おそらくもっともよく知られているBUZZのデザインです。1基のドライバーをバッフルの前に、もう1基をバッフルの後ろに、それぞれ2基の12”ドライバーを斜めに配置したユニークな取り付け構成を特徴としています。これは非常に小さいキャビネットでも取り扱いやすい重量で412のようなダイナミックでクリーン、そして素早く、パンチが得られるフルレンジのサウンドが得られます。これは、ブルース、ジャズ、レコーディングに便利な非常にポータブルなキャビネットです。キャビネットは水平に使用するように出荷されていますが、どちらの方向でも使用可能です。

ORANGE: 120WのOrange Amplifiers PPC212-Cギタースピーカーは、多くのパワープロジェクション・キャビネット(PPC)のように13プライの高密度18mmバーチ合板を使用して作られています。Orange amplifiersのスピーカーエンクロージャーは、非常に頑丈な構造を保障する製造技術で制作されています。Orangeのユニークな“スキッド”デザインは、このキャビネットをよりステージに合うように、よりタイトなベースレスポンスとフルレンジの密度を提供します。すべてのOrange Amplifiersのスピーカーエンクロージャーには、Celestion Vintage 30スピーカーと快適なフラッシュキャビネット・ハンドルが装備されています。Celestion Vintage 30スピーカーはオリジナルのCelestion Blueのサウンドと新しいコーンとコイルのアッセンブリーを採用しています。改善された性能: 定格60W、高出力時に発生する熱を効率的に処理、Vintage 30は大量のオーバードライブトーンを簡単に処理可能。これはクラシックな2x12ラウドスピーカーです。

FRIEDMAN: Friedman Dirty Shirley 1 x 12キャビネットは、1 x 12”のオープンバック・エクステンションキャビネットです。バルチックバーチ構造は、低域と中域のレスポンスを向上させ、Friedmanキャビネットから期待通りのサウンドが得られます。キャビネットの中心には、Celestion G12M-65 Creamback 16Ωスピーカーが取り付けられています。

G12M Greenbackは信頼の高いビンテージCelestionセラミックマグネット・ギタースピーカーです。G12Mが60年代半ばに開発された時、その時代を特徴付けるような、よりラウドで、アグレッシブなブルースロックのプレースタイルを特徴とするHendrix、Clapton、Beck、Pageなどのプレーヤーはすぐにそれを採用しました。Dirty Shirleyキャビネットに使用されているG12M-65 Creambackは、なじみのあるウッディなG12Mトーンをしますが、より大きなパワーを処理可能です。ビンテージとモダンなトーンが望まれる今日のアンプに理想的です。増加したパワーハンドリングは、ウォームなミッドレンジを補完するローエンドを持ち、クランチャーなアッパーミッド、スイートで洗練されたハイを提供します。すべてのFriedmanキャビネットと同様に大きめの12ゲージのスピーカーケーブルを使用してスピーカーと端子を接続しています。Dirty Shirley 1x12EXTは、米国内で埃を持ってハンドメイドされ、ツアーでの厳しい状況での使用でも耐えるように設計されています。

ENGLISH: 1960TVにはCelestion® G12M-25 Greenbackスピーカーが搭載され、これは1960A™で使用される75ワットのCelestionsよりも余裕があります。25ワットのGreenbacksはよりウォームでサチュレーションサウンドを提供します。100ワットのモノラルキャビネットは、1960A、1960B™はよりも63mm全高が高く、中域のレゾナントレスポンスが低くなります。

往年のクラシックなルックスとトーンを再現するためにMarshallは、1960TVキャビネットを提供しています。1960TVの4基のMarshall/Celestionは、25ワットのGreenbackスピーカーを再設計し、60年代後半のスタイルのECフレットクラスとスムーズなレバントカバーで仕上げられています。Marshall 1960TVは標準的な4 x 12”よりも4インチ高く、そのために“Tall, Vintage”の頭文字である“TV”と命名されています。



プラグインセッティング・ツールバー:

BYPASS (パワーボタン): Fuchs Train IIのバイパスをコントロールします。

UNDO/REDO (矢印): Fuchsプラグインで変更したコントロールを、最大32ステップでいつでもアンドゥ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなったらいつでもアンドゥを使用することが可能です。

SETTINGS A/B/C/D: Fuchsアンプ・プラグインは、すべてのプリセットに保存することができる4個の内部セッティング(A/B/C/D)があります。1プリセットにつき、最高で4個のアンプとエフェクト・セッティングのバリエーションを保存することができます。これらの設定は、ほとんどすべてのDAWでオートメーション化することができます。この方法によって、クリーンなサウンドから粗いリードサウンドまで瞬時に切り替えることができます。

COPY/PASTE/RESET A: 同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティング A のバリエーションをディレイ無しにしてB に作ると仮定します。:

セッティング A を選択し、“COPY”をクリックします。
SETTING B を押して“SETTING B に切替えます。
PASTE”をクリックすると A のセッティングを再現します。
チューブ・ゲインを減らしてください。これで完了です。

AとBを切替えて作成したトーンのさバリエーションを聞くことができます。

FX RACK: スタANDARDとズーム・ビューを切替えます。

ABOUT: プラグインの開発に関するインフォメーション

ファクトリー・プリセット:

これらのプリセットは Fuchsアンプ・プラグインを使用してオリジナル・サウンドを作成するためのスタート・ポイントとして使用することも意図しています。

オリジナルのサウンド&プリセットの作成: オリジナル・サウンドを作り始める時に調整するもっとも重要なパラメーターはDRIVE、TONE STACK とREC CHAINS です。

好きなだけGAIN、またはDistortionを調整してください。
多くのREC CHAINSを試し、TONE SECTIONを使用せずに、探しているサウンドにできるだけ近いものを選択してください。
TONE SECTIONを微調整してアンプの設定を理想に近づけてください。

アンプのセッティングや REC CHAIN によって異なるトーンを提供する膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルにとって素晴らしいサウンドを提供する組み合わせを提供できると確信しています。